

第19回
和紙文化
講演会

WASHIKEN

造る

使う

愛でる

古代・中世の和紙文化



講演1 料紙の美とわが国の美意識 **名見 耶明**

(財団法人五島美術館学芸部長)

講演2 春日懐紙・春日本万葉集

表裏一体の和歌資料

田中 大士

(文部科学省主任教科書調査官)

講演3 日・中・韓の料紙について

高橋 裕次

(東京国立博物館 博物館情報課長)

講演4 正倉院文書料紙について

増田 勝彦

(昭和女子大学大学院教授)

金銀泥風紋繻
成り紙料紙

金銀野毛小石散らし
染紙料紙

大和綴装 素性集

(江戸初期 巻写本) 表紙

甘露寺親長和冊

新巻

金銀泥草花描き
小石散らし料紙

大和綴装 素性集

(江戸初期 巻写本) 本文

※講演関係資料の展示あり。

2011 **12/11** 日 **昭和女子大学グリーンホール**

入場料 3,500円 [機関誌『和紙文化研究』19号 (1500円) を含む]

10:00 ■ 17:00

(開場: 午前9時40分)

主催: 和紙文化研究会

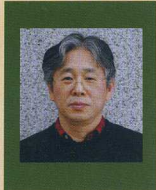
後援: 文化財保存修復学会 / 美術史学会 / 毎日新聞社 / (財) 毎日書道会

【参加申込方法】 ●事前受付制。●参加費の事前払い込みが必要です。郵便振替用紙に住所、氏名、電話・FAX番号、専門分野もしくは所属をご記入の上、参加費をお払い込みください。
締め切り: 11月25日(金) 振込先: 郵便振替口座00170-8-402506 和紙文化講演会
【お問合せ先】 第19回 和紙文化講演会事務局 〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8 東京藝術大学大学院美術研究科 保存科学気付 FAX.03-5685-7780
TEL.080-5860-5943 (特設携帯電話: 講演会前日までの平日午後1時~6時のみ受付) ※昭和女子大学へのお問い合わせはご遠慮ください。

●場所: 昭和女子大学グリーンホール / 東京都世田谷区太子堂1-7 ●交通: 東急・田園都市線 三軒茶屋下車 南出口より徒歩5分 JR渋谷駅バスターミナルより三軒茶屋方面行 昭和女子大学前下車
※ http://www.washiken.jp/ (和紙研公式HPは9月開設予定)

講演者

造る・使う・愛でる



講演1 「料紙の美とわが国の美意識」
名兎野 明 (財団法人五島美術館 学芸部長)

仮名用の料紙には、色紙を使用したもの、あるいはそれらの紙に下絵を施したもの、雲母を使って文様を刷りだしたものなどがある。それらの紙をさらに様々な加工した紙がある。その独自の美はどこから生まれたものであるのか、それについて考えてみるものである。現在では気づかない人も多いが、日本は身近なところに自然があり、その自然の美しさに触れる機会が多いことが仮名文字を作りだし、さらに料紙も生み出したと思われるからである。



石山切 (伊勢集)



講演2 「春日懐紙・春日本万葉集 表裏一体の和歌資料」
田中大士 (文部科学省初等中等教育局 主任教科書調査官)

春日懐紙・春日本万葉集は、鎌倉時代和歌懐紙の紙背を万葉集の書写に利用したことに由来する表裏一体の和歌資料である。江戸期に入って、和歌懐紙に再び価値が見出されるようになり、裏の万葉集面は「相剥ぎ」の手法で除去された。だが、剥がされている以上万葉集面もどこかに残されている可能性がある。最近、相剥ぎによって部分的に残された万葉集の事例が初めて明らかになった。その発見の経緯と究明の過程を解説する。

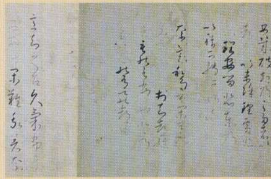


春日懐紙・春日本

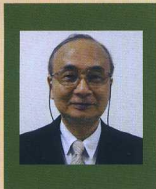


講演3 「日・中・韓の料紙について」
高橋裕次 (東京国立博物館 学芸企画部 博物館情報課長)

紀元前150年頃に中国で発明された紙の製法は、朝鮮半島を経て、日本に伝わりました。奈良時代には、料紙の染色、箔散らしなど装飾技法の基礎ができあがりますが、平安時代以降も、書風や作品の内容にふさわしい優雅で繊細な紙を求めて、中国や朝鮮から多くの料紙が輸入されました。この報告では、東京国立博物館の所蔵する日・中・韓の料紙を中心に、顕微鏡、透過光などを用いて観察し、それぞれの材質や技法などから、その特徴について検討を行います。



秋萩帖



講演4 「正倉院文書料紙について」
増田勝彦 (昭和女子大学大学院 教授)

8世紀を中心とする紙資料が一万点を越えて保存されている正倉院紙資料の内134点について調査をした結果をお話します。今次の調査では、昭和30年代の調査以来、積み重ねられて来た多くの研究や調査結果を踏まえて、透過光や斜光による紙としての出来具合の観察を中心に調査を行いました。調査記録機器の発達により前回の調査より詳細な調査が行われただけでなく、初めての繊維分析が行われた結果、外観観察での判断を覆す結果も得ています。



国家珍宝帳 第2紙 (透過光)

やむを得ぬ事情で講演者の変更になる場合は、申し訳ありませんがご容赦ください。

■会場内での書籍特別販売のご案内■

「第19回 和紙文化講演会」当日、会場内では下記の書籍を特別価格(会員価格)にて販売いたします。

『機関誌』『和紙文化研究』 ※バックナンバー各号 (但し、1、2、4、7、8号は在庫がございません。)	通常価格 1,500 円 ⇒ 会員価格 1,200 円
『パークス和紙コレクション』 久米康生著 わがみ堂 1994 年刊	通常価格 1,800 円 ⇒ 会員価格 1,500 円
『和紙の源流』 久米康生著 岩波書店 2004 年刊	通常価格 2,835 円 ⇒ 会員価格 2,500 円
『和紙づくりの歴史と技法』 久米康生著 岩田書院 2008 年刊	通常価格 2,940 円 ⇒ 会員価格 2,350 円
『古代製紙の歴史と技術』 ダード・ハンター著 久米康生訳 勉誠出版 2009 年刊	通常価格 5,250 円 ⇒ 会員価格 4,500 円
『和紙のすばらしさ』 ダード・ハンター著 久米康生訳 勉誠出版 2009 年刊	通常価格 2,940 円 ⇒ 会員価格 2,500 円

※他に紙関係書籍の展示販売も予定しています。

販売状況により、品切れとなる場合もございます。当日の購入予約ご希望の方は、下記に必要事項をご記入の上、記載の FAX 番号宛にお申込みください。

<p>[書籍購入予約] FAX: 03-5685-7780 (東京藝術大学大学院美術研究科 保存科学交付 和紙文化研究会事務局)</p>	お名前
	ご連絡先
	予約書名 (部数)